



糖尿病の治療で知って
おきたい日常の検査と
治療薬

糖尿病の基本は定期的な
受診と検査であり、自己管理
は最も重要なものです。

当クリニックでは、糖尿病
の診断と合併症の総合的な
チェックを行い、早期発見に
力を入れています。最近では
癌の増加も著しく、すべての
癌の早期発見に努力してい
ます。今回は皆さんが受診す
る際の検査にどのような種
類の検査があり、どのような
意味があるのか解説してみ
たいと思います。

一、糖尿病の診断とコントロ
ールに関する検査とデータ
の読み方
・尿糖陽性：血糖が高くな
って、尿中にブドウ糖が排泄
される現象で、コントロール
不良状態。
・血糖：血中のブドウ糖の
ことで、治療でコントロール
が悪いと空腹時一〇〇mg/
dl以上、食後二時間で一八〇
mg/dl以上となる。
・HbA1c：血中のヘモ
グロビンとブドウ糖が結合
した状態で一〜二ヶ月前の
血糖の平均を反映し、六・
四%以下を良いコントロー
ルとしてめざす。
二、合併症の検査
・眼底検査：網膜症の程度

をあらわし、高血圧や動脈硬
化も反映される。
・尿蛋白：正常は陰性で腎
障害があれば、陽性となる。
・尿中微量アルブミン：腎
障害早期発見に有効で、蛋白
尿が陽性になる前に尿中に
出る。

・BUN(尿素窒素)：腎
障害で、蛋白質の代謝産物が
尿中に出る。クレアチニンは
筋肉の代謝産物である老廃
物の一種で、尿中排泄される。
・腱反射：膝やアキレス腱
をたたいて深部知覚障害を
しらべる。
・動脈硬化：血圧、心電図
(心臓の不整脈や虚血性疾
患も発見)、脈波(PWV)、
コレステロール(特にLDL
コレステロール)は当クリ
ニックで行われている重要
な検査である。
・胸部レントゲン検査：心
臓の大きさや肺病、肺炎のチ
ェック
・骨量測定：骨粗鬆症の検査
・CRP、白血球数：すべ
ての炎症の検査
・胃X線検査：食道、胃、
十二指腸の潰瘍や癌のチェ
ック
・腹部超音波検査：肝、胆、
膵、腎の検査
三、糖尿病の内服薬

糖尿病治療の基本は食事
療法と運動療法です。それで
うまくコントロールでき
ない場合は、薬物療法が追加

鈴森会 会報
発行所
千代田区神田岩本町
一番地 岩本町ビル内
鈴森内科事務局
電話 (3253) 7081
発行者 石川 喜一郎
編集発行人 齊藤、仲松

作用として低血糖が考えら
れる。
速攻型インスリン分泌促進
薬(カッコ内は商品名です)
ナテグリニド(ファスティ
ック、スターシス) 錠剤
ミチグリニド(グルファス
ト) 錠剤

・インスリン抵抗性改善薬
インスリンの効き目をよく
する薬です。肥満タイプに効
果があります。副作用として
むくみ、動悸があり、症状が
あれば薬を中止します。
インスリン抵抗性改善薬(カ
ッコ内は商品名です)
ピオグリタゾン(アクトス)
錠剤
・ビッグアナイド薬
インスリンの効きを良くす
る薬で、肥満タイプに効果が
あります。副作用として吐き
気、食欲不振、呼吸の乱れが
あれば薬を中止します。
ビッグアナイド薬(カッコ内は
商品名です)
塩酸メトホルミン(グリコラ
ン、メルビン) 錠剤
以上クリニックの日常診療
の中で行われている主な検
査と内服薬について解説し
ました。勿論その他の検査が
あり、あらゆる検査と治療薬
を組み合わせた計画的
に糖尿病の管理を行ってい
るが、これも患者さんの協力
なしにはできません。少しで
も健康に長生きできるよう
にしたいと考えています。糖
尿病のインスリン等注射薬
については後日解説します。
(重本 六男)

糖尿病治療の基本は食事
療法と運動療法です。それで
うまくコントロールでき
ない場合は、薬物療法が追加

鈴森会入会のお知らせ

鈴森会は、昭和四十年に創立された患者さんの会です。
当会の設立目的は、糖尿病及びその他の生活習慣病に関する正しい知
識の普及、糖尿病患者及びその家族の療養指導など皆様の健康の推進
に寄与することにあります。

☆鈴森会の主な活動☆

- ブロック会：各地域の患者さんを集まって頂き、ビデオ講座など行っ
ています。(年六回)
- ミニ講演会：重本先生による、生活習慣病の講演会を行っています。
(年二回)
- 糖尿病教室：管理栄養士による糖尿病食の実地指導と質疑応答を行っ
ています。
(カリリー計算した食事を作り、実際に召し上がっていただきます。)
- 栄養相談：管理栄養士が一人三十分ずつ食事について指導しています。
- 歩く会：先生方と職員が同行してそれぞれの場所を散策します。(年二回)
- 旅行：先生方や職員が同行し旅館に一泊して交流を深めております。
盛り沢山な企画になっています。(年一回)
- 総会：一年間の行事や収支報告、各分野の先生方をお招きし講演をし
ていただいております。

年間に様々な行事を行っておりますが、これら全ては皆様が納めて頂いた会
費から賄われております。会費は一人様五千円です。何卒、ご協力の程よ
ろしくお願い致します。

尚、会費を納めて頂いた方に糖尿病協会の刊行物「さかえ」(二冊五百円)を
毎月、配布しております。

* 鈴森会は糖尿病以外の方どなたでも入会できますので、受付までお声を
かけて下さい。

鈴森会の活動をよく理解し、一人でも多くの方が会員となり共に助け合い、
力を合わせて、糖尿病の克服と健康増進を実現しましょう！

尚、会のお知らせは随時、当クリニックの待合室にて掲示されていますので、
是非、御覧になって下さい

日本糖尿病協会支部 鈴森会会長 石川 喜一郎



Dedicated to Man's Fight
against Disease and Pain



“病気と苦痛に対する
人間の戦いのために..”
我社の創業は西暦1717年
であり、280年余という伝統の
歴史を持っております。
この伝統の上に人間の病気
と苦痛に挑戦し、健康な生活
に寄与する使命を誇りとし
ています。

小野薬品工業株式会社
www.ono-pharm.co.jp

ノボ ノルディスク ファーマは
糖尿病ケアのリーディングカンパニーです。



その笑顔のために

Beverly Munroe (Type 2 diabetes), Canada
ノボ ノルディスク ファーマ株式会社
www.novonordisk.co.jp



待っている生命があることを
タケダは忘れない。

新薬を実現させる責任
武田薬品工業株式会社
http://www.takeda.co.jp